

組 番 氏 名

◎ 学習課題

1 プレゼンテーションとは

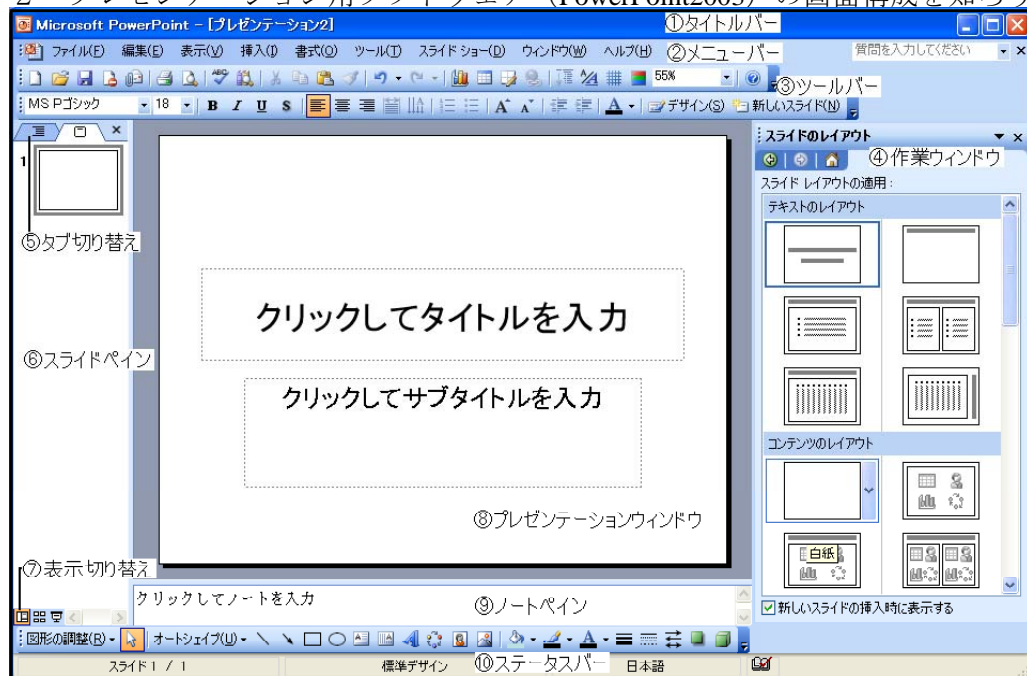
プレゼンテーションとは限られた時間の中で、情報を正確に伝えて、判断や意志決定までしてもらおうコミュニケーションの方法のこと。

他民族国家のアメリカでは、自分の考えを相手に伝えるのが難しいため、コミュニケーションの研究がされてきた。日本でも異分野・異業種の人に考えや意見を理解してもらい新しいアイデアを創り出すため、新しいアイデアを提案するために重要視されてきている。

人間の脳は、説明を左脳で、図やグラフを右脳で理解するように働いており、コンピュータを用いたプレゼンテーションのように説明と映像イメージを組み合わせる場合、より強く記憶に残ることが分かっている。

コンピュータを使わないプレゼンテーションも多数あり、日本の伝統芸能である「ガマの油売り」「バナナの叩き売り」も効果的なプレゼンテーションである。人の足を止める話術、商品の具体的な提示方法、聴き手を引きつける刀や棒などの小道具を使った演出など巧みな技術によって構成されている。【参考文献】実教出版編集部著(2005)、『プレゼンテーション+PowerPoint2003』実教出版株式会社

2 プレゼンテーション用ソフトウェア (PowerPoint2003) の画面構成を知ろう

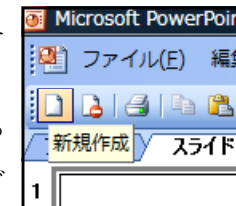


☆画面構成 (各部の名称) とそのはたらきを知ろう

- ① : 作成中の文書名とプログラム名を表示
- ② : 機能が並び、プルダウンでさらに機能を表示
- ③ : 利用の多い機能がアイコンで表示
- ④ : スライドのデザイン・レイアウトの選択やアニメーションの設定を行う
- ⑤ : 縮小スライドやアウトラインを表示、全体を把握できる
- ⑥ : スライドの表示状態を確認、編集できる
- ⑦ : 表示を標準・スライド一覧・スライドショーに切り替える
- ⑧ : スライドの作成・編集を行う部分
- ⑨ : スライドの説明や備考を書くことができる
- ⑩ : 作業中のスライド番号や入力モードなどを表示

3 スライドの作成

- (1) プレゼンテーション用プランニングシートを見てプレゼンの条件や内容を確認する
- (2) 【新規作成】アイコンをクリックする
- (3) 作業ウィンドウの【スライドのレイアウト】から適するレイアウトを選択する
- (4) 選択したレイアウトに沿ってテキストや画像・グラフ・表などを設定し、保存 (F12) する
- (5) スライドペインの【新しいスライド】でスライドを追加、(2)・(3)と同様に設定する
- (6) 全体を通して見て強調したい部分を明確にし、テキストのフォントの色・ポイント・種類を工夫し、ツールバーの【デザイン】で背景等を選択する。
- (7) 【表示切り替え】で を選択・実行して、不具合がないか確認をして上書き保存する



4 今日の授業を振り返って

① どこまで進めたかな

<input type="checkbox"/> スライドの新規作成	<input type="checkbox"/> スライドの追加
<input type="checkbox"/> テキストの色・ポイント・種類の工夫	<input type="checkbox"/> スライドショーの実行

- ② PowerPoint の画面構成の10の名称とその場所がわかりますか
- ③ PowerPoint でプレゼンテーション用データの作成ができましたか

<input type="checkbox"/> よくわかる	<input type="checkbox"/> 十分にできた
<input type="checkbox"/> まあまあ	<input type="checkbox"/> まあまあ
<input type="checkbox"/> もう少し	<input type="checkbox"/> もう少し
<input type="checkbox"/> わからない	<input type="checkbox"/> できなかった

感じたこと ▶

思ったこと ▶

組番氏名

◎ 学習課題

1 プレゼンテーション資料（以下、プレゼン資料）作成のポイント

プレゼン資料は、読ませるのではなく、見せる「視覚資料」にする

- 化
 - ☆ キーワードを明確にしておく
 - ☆ 体言止めの短い表現にして、箇条書きにする
 - ☆ 見やすいフォント・大きさを工夫する
- 化
 - ☆ 関連・手順・循環を図解（イラスト化）する
 - ☆ 図・グラフ・表を活用する
- 化
 - ☆ メッセージを色で印象的にする
 - ☆ 色で視覚的に強調する
 （カラフル過ぎると何を強調したいのかわからなくなるので注意）

【参考文献】 実教出版編集部著（2005）、『プレゼンテーション+PowerPoint2003』実教出版株式会社

2 アニメーション効果について

特に印象づけたい場合にスライド、テキスト・画像・グラフに動きを設定することができる、これをアニメーション効果という。スライドの表示に動きを設定する【画面切り替え】とテキスト・画像・グラフなどの表示に動きを設定する【アニメーションの設定】の2種類がある。

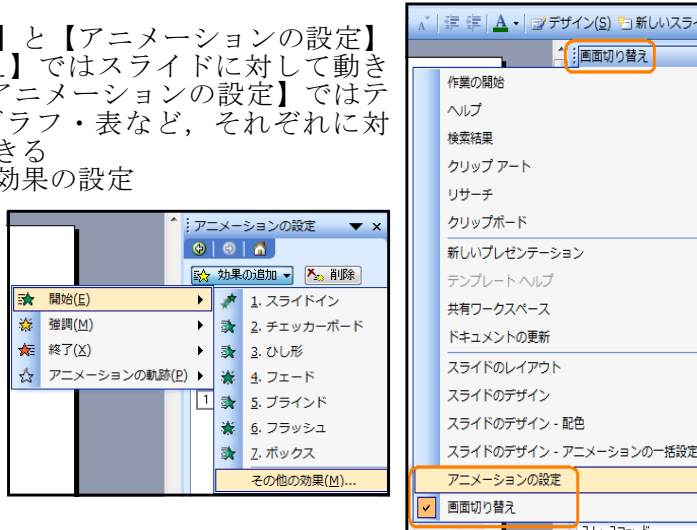
アニメーション効果は聞き手の興味を引くには効果があるが、多用すると、動きにだけ興味が集まり、逆効果になる傾向があるため、どこに、どんな動きを設定するのかは十分に検討した方がよい。

- (1) 【画面切り替え】と【アニメーションの設定】
 【画面切り替え】ではスライドに対して動きを設定できる。【アニメーションの設定】ではテキストや画像・グラフ・表など、それぞれに対して動きを設定できる

(2) アニメーション効果の設定

- ① 動きを付けたスライド、テキスト・画像・グラフを指定

- ② 【効果の追加】から、タイミング動きの種類・早さなどを選び指定、【再生】で動きを確認



3 作品を作ろう

スライド3～4枚で自己紹介のプレゼンテーションをしよう。
 学級で『最近、はまっていること：マイブーム』をテーマに一人3分間の自己紹介プレゼンをする。そのプレゼン資料作成では、以下の4つを行うこと

- ① テキストはフォントの種類・大きさ・色などの工夫をして、大事な部分を強調すること
 - ② 各スライドのタイトル（見出し）は位置や大きさ・色について統一すること
 - ③ サンプル画像フォルダにある画像を1つ以上利用すること
 - ④ アニメーション効果を2箇所だけに設定すること
- (1) プレゼンテーション用プランニングシートを記入し、プレゼンテーションの条件や内容を確認する
 - (2) アイコンをクリックする
 - (3) 作業ウィンドウの【スライドレイアウトの適用】から適するレイアウトを選択する
 - (4) 選択したレイアウトに沿ってテキストや画像などを設定し、保存（プレゼンテーション 1-6-46）する保存する
 - (5) スライドペインの でスライドを追加、(2)・(3)と同様に設定する
 - (6) スライドペインで作ったスライドをコピーしたり、順番を入れ替えたり削除したりできます。
 - (7) 全体を通して見て強調したい部分を明確にし、テキストのフォントの色ポイント・種類を工夫、ツールバーの【デザイン】で背景等を選択、アニメーション効果の設定をする
 - (8) 【表示切り替え】で を選択、スライドの説明を入力する
 - (9) 【表示切り替え】でスライドショーを選択・実行、不具合がないか確認をして、上書き保存をする。

4 プレゼンテーション用ソフトウェア（PowerPoint2003）の特徴をまとめよう

自分で	板書
-----	----

5 今日の授業を振り返って

- ① どこまで進めたかな
- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> テキストの強調 | <input type="checkbox"/> 画像の利用 |
| <input type="checkbox"/> アニメーション効果の設定 | <input type="checkbox"/> スライドショーの実行 |

- ② PowerPointで自己紹介のプレゼンテーションの作成ができましたか
- ③ プレゼンテーション用ソフトウェア（PowerPoint）の特徴を書くことができましたか

十分にできた

まあまあ

もう少し

できなかった

十分にできた

まあまあ

もう少し

できなかった

感じたこと ▶

思ったこと ▶

パワーポイントの特徴はこれまで紙や図表で行っていたプレゼンテーションをパソコンのデータで行うことができることです。パワーポイントを使うことにより、テキスト・表・グラフ・画像・動画等のデータを一括(一元化)して扱うことができます。